

第7回 総務建設常任委員会

開催日	令和3年10月25日（月曜日）	
開催場所	粕屋町役場 3F 31会議室	
開催時間	9:26～11:09	
出席者	議員	末若委員長・杉野副委員長・山脇委員・川口委員 安藤委員・鞭馬委員・案浦委員・田代委員
	事務局	山田主幹
	担当課	なし
欠席者	なし	
傍聴者	井上議員・宮崎議員	
審査項目	<p>協議事項</p> <p>1) 閉会中所管事務調査</p> <p>(1) 行政視察について</p> <p>①視察先等について</p> <p>末若委員長より、行政視察についての検討内容について以下のとおり説明がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none">・テーマを「市制に向けた取り組みについて」に決定することとし、第1次として、近隣で最近市制を施行した那珂川市、第2次として広島府中町とし、2段階での視察を検討中。・那珂川市向けの質問内容を検討し決定する。視察の日程については、あくまでもこちらの都合であるが11月25日しか取れないので、その日程で打診をする予定。なお、視察の随行については、議会事務局のみとする。視察先が近場のため、もう1か所海水淡水化施設の視察を合わせて行いたい。・視察後、委員会を開催し、その内容を踏まえて検討し、令和4年1月末頃府中町の視察を行うよう考えている。・各委員の視察報告書をもとに常任委員会として意見書・提言書の作成を考えている。 <p>(質問・意見)</p> <ul style="list-style-type: none">・11月25日は12月議会の一般質問締め切りと重ならないか。 ⇒ 今回は11月22日が締め切り、26日が正副議長打ち合わせのため、事務局としては日程的に厳しいが対応は可能。また、那珂川市も議会前であるので、先方の都合によっては那珂川市を1月中旬、広島府中町を2月中旬ということも考えられる。・町内部で取り組まれている「市制塾」について、できれば視察に行く前に検討状況を聞きたい。 ⇒ 12月に報告をしていただけると議長より聞いている。・町も取り組んでいると思うが、議会は議会として白紙のまま質問を持って行った方がいいのではないか。・視察は1泊2日で2か所という形で行われてきた。府中町の視察についてはもう1か所広島県内で考えているのか。 ⇒ 当然市制施行を軸に検討しているが、広島県内においてはデ	

デジタル化の取り組みが進んでいるところもあるので、それも併せて検討している。

- ・せっかく行くのならばためになる視察でなければならない。教訓になるようなものにしたい。
- ・漠然とした状態で視察に行くと曖昧なものになりかねない。例えば来年度に推進協議会を立ち上げるなど、目的があって視察に行く方がより深いものになるのでは。
- ・町がどのように考えているかが大前提。行政がどのようなスケジュールで考えているかを把握しておく必要がある。それによっては逆にこちらから議会としての動きをつけられるようにしていく形がいいのでは。

②市制に向けての全体的な質問

各委員よりあがった質問事項については以下のとおり。

- ・市制導入に伴う事業費の増額内容及びその財源
- ・職員の定数の変化（人材の確保の方法、業務量の変化、福祉サービスの变化）
- ・市政全般のメリット・デメリット
(公共料金、税金の変化・財政面)
- ・市制を目指した理由（きっかけ）
- ・導入に向けた体制は（準備室など）
- ・町民意識調査等（住民アンケート、住民投票、住民説明会）
- ・市街化区域内農地の課税、都市計画税
- ・市制導入に伴う企業コストへの行政の対応
- ・市制導入まで、及び導入後に気付いた課題（計画と現実）
- ・広域連携（消防組織など）、権限移譲
- ・国、県の支援は
- ・単独市制、合併での市制かの検討は
- ・人事交流
- ・あえて市制を導入しない理由（府中町）
- ・議員の定数、報酬
- ・選挙にかかる変化
- ・合併に係る議会の動き

以上、この内容を精査し、質問項目としてまとめることとした。

2) 報告事項

(1) 九大農場跡地について

10月13日、正副議長、総務建設常任委員会正副委員長、文教厚生常任委員長、議会運営委員会委員長の6名で九州大学農学部に挨拶に伺った。

100年間のつながりを絶やさず、今後も交流を行っていく旨を確認した。また、跡地活用に関する担当者等の情報もいただいた。

なお、ニュースにもなっていたが跡地から重金属等が出たということで、これについては担当課より報告があり次第、改めて報告することとした。

(2) 国鉄志免炭鉱ぼた山の売却依頼について

10月21日、国鉄志免炭鉱ぼた山開発推進協議会が開催され諮問が提出された。

内容としては、ぼた山の須恵町側の飛び地について、須恵町長より、粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会に対し、県道筑紫野古賀線の拡幅工事に伴う代替地として、購入の要望が出され、執行協議会より推進協議会に対し諮問が出されたもの。

各町持ち帰って協議となったが、推進協議会には当常任委員会の正副委員長も出ていることから、答申の決定を行うにあたり、各委員の意見を参考として伺った。

なお、今後は本日の意見を参考にし、当議会から出て4名の議員で対応を検討することとした。

(意見)

- ・この辺りは発展してきており、非常に価値が高い土地である。また今後のぼた山の開発に当たっては重要な土地である。代替地として他にも土地はあるのではないか。ここでなければならぬ理由がはっきりしない。

- ・代替地ならば筑紫野古賀線近辺で探すべき。場所として離れすぎているのでは。

- ・立ち退きの対象がロードサイド店ということで、須恵町内にはロードサイドで適当な場所がなく、今回の候補地になっているようだ。

- ・この土地については以前から須恵町は売ってくれという話をしてきたが断ってきた。今回はあえてそのような理由付けをしているのでは。

- ・どういう事業者が来るのか、そのような情報をもっと頂かないと判断しようがない。

- ・これまでぼた山と一体で開発するという方針で来ている以上、これを覆すだけの内容がないと賛同しかねる。

- ・理由付けがはっきりできての売却であればいいが、もう少し慎重にお願いしたい。

(3) 議会報告会について

議会報告会として行われる、商工会との意見交換会の日程が決定した旨、報告がなされた。

日程については11月16日(火)午後2時から午後4時。

内容については、決算の報告及び商工会関係事業の執行状況を報告ののち質疑をうけ、その後自由に意見を拝聴する予定。

なお、報告としては当常任委員会で対応するが、報告の内容については、末若委員長より、議会活性化特別委員会議会報告小委員会のメンバーである、末若議員、田代議員、本田議員、川口議員、当委員会副委員長の杉野議員で検討させていただきたいとの発言があり、異論なく承認された。

当日の役割分担等については、10月25日午後に行われる小委員会にて検討し、改めてお知らせすることとした。

その他